

平成29年度予算

アナ： 「市長が語る 2017 三島」第1回の今日は「平成 29 年度予算」について、お話を伺います。豊岡市長よろしくお願ひします。

市長： よろしくお願ひします。

アナ： 平成 29 年度の予算のうち、福祉や教育など、市役所の基本的な業務に関わる一般会計予算は 347 億 5,000 万円と伺っています。

予算を編成する上での基本的な方針はどういったものだったのでしょうか。

市長： 予算編成にあたっては3つの基本方針を掲げました。まず1つ目は「ガーデンシティで育むシビックプライドと人が行き交い元気あふれる産業・経済の創造」、2つ目は「スマートウエルネスで叶える健幸都市の実現と未来を拓く教育・歴史を活かした文化の振興」、そして最後は「コミュニティの絆で生み出す確かな地域防災力と幸福(しあわせ)を実感できる子育て・福祉の充実」の3つになります。

アナ： それでは、3つの基本方針にはそれぞれどのような事業が予定されているのか、主なものを教えていただきたいのですが、まず一つ目の柱「ガーデンシティで育むシビックプライドと人が行き交い元気あふれる産業・経済の創造」について、教えていただけますか？

市長： 第一の柱では、まず、三島駅南口西街区に建設が予定されているホテルの開業に伴いまして、現在の南口自転車駐輪場を改修し、駐輪スペースを確保する整備を新たに行います。

また、谷田幸原線をはじめとする都市計画街路の整備や歩行者にとって安全で歩きやすい一般市道の整備を進めるほか、新たな観光産業の振興や県が進める「内陸フロンティア推進区域」の指定を受けて実施する三ツ谷工業団地の整備、及び宅地造成などを行い、魅力ある都市基盤の整備と、新たな雇用の創出を図ってまいります。

また、平成 28 年度に国の地理的表示の登録を受けました三島馬鈴薯の更なるブランド化を支援する取り組みを行い、全国の皆様に三島馬鈴薯の魅力を伝え、その味を楽しんでいただく取り組みを進めてまいります。

アナ： 三島馬鈴薯は本当に見た目も綺麗で、美味しいですから、全国の皆様に味わっていただきたいですね。次に、2つ目の柱「スマートウエルネスで叶える健幸都市の実現と未来を拓く教育・歴史を活かした文化の振興」には、どのような事業があるのでしょうか。

市長： 第二の柱では、西小学校夜間照明設備の改修など市民の皆様がスポーツを通じて健康と生きがいを実感していただけるよう、市内スポーツ施設の環境整備を実施してまいります。

また、北中学校南校舎の改築をはじめ、小学校の特別教室や少人数教室にも電

子黒板とデジタル教科書を導入するなど、教育環境の更なる充実を図ってまいります。

そして、文化の振興では、市民の皆様の自主的な文化活動の啓発や支援を行うほか、クリエイティブ教育を実施し、国内外で活躍する人材を育成してまいります。

アナ： 3 つ目の柱「コミュニティの絆で生み出す確かな地域防災力と幸福(しあわせ)を実感できる子育て・福祉の充実」では、子育て支援策が充実するようですね。

市長： そうですね。昨年の保育園保育料の軽減に引き続き、本年 4 月からは幼稚園保育料についても多子計算の年齢制限及び世帯の所得制限を撤廃し、第 2 子の保育料は半額、第 3 子以降は無料とし、子育て世帯の経済的負担を軽減してまいります。このように、新たな支援施策を積極的に展開することで、若い世代から選ばれるまちづくりを目指してまいります。

また、防災力向上という面では、山田中学校の多目的ホールの吊天井落下防止工事を実施し、在校生徒や学校に避難をしてくる住民の皆様が安全で安心できる学校施設を目指してまいります。

アナ： ありがとうございます。「花と緑が美しいまち」、「健康で幸せなまち」、「子育てしやすく、災害に強いまち」を目指し、さまざまな事業が盛り込まれていることがよくわかりました。これからも、市長が掲げる「美しく品格のあるまちづくり」、「人もまちも産業までも健幸を実感できるまちづくり」を是非期待しております。

豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございます。